

COVID-19を合併したパーキンソン病患者の検討

1. 研究の対象

2020年1月から2023年8月までに当科に入院したパーキンソン病患者。

2. 研究目的・方法

本邦ではパーキンソン病患者は増加傾向であり、パーキンソン病患者がCOVID-19となることはまれではないと考えられる。今後のパーキンソン病診療をよりよくするために、パーキンソン病患者がCOVID-19となった場合にどのような経過をとるかについて現時点での評価を行う必要がある。今回、入院時にCOVID-19を発症していた、もしくは入院後にCOVID-19を発症したパーキンソン病患者について検討を行う。方法は診療録を用いた後方視的研究とする。年齢、性別、主訴、現病歴、既往歴、症状、検査所見、入院後経過、転帰を調査し、COVID-19を合併した患者の状況を明らかにする。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、主訴、現病歴、既往歴、症状、検査所見、入院後経過、転帰について診療録を用いて後方視的に検討を行う。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用をご同意頂けない場合の連絡先：以下に記載

研究責任者：済生会横浜市南部病院 神経内科 中江啓晴

住所：〒234-0054 横浜市港南区港南台 3-2-10

電話番号：045-832-1111